

ZA
EXPO '22
Presents

映画「ドンバス」

(2018年/121分、監督・脚本：セルゲイ・ロズニツァ)

自主上映会 + トークセッション

2022.10.14(金) 19:30-22:30

会場: even (仙台フォーラス7F)

異聞異文
トーク vol.02

MA JARON PRESENTS ARTHOUSE TRAFFIC, JSA PRODUCTION, GRANET FILM, WILD AT ART, DIGITAL COBE PRESENTS

第71回 カンヌ国際映画祭
〈ある視点部門〉監督賞受賞

第91回 アカデミー賞®
外国語映画賞ウクライナ代表

DONBASS

ドンバス

UN FILM DE
SERGEI LOZNITSA

ロシアによる
ウクライナ侵攻の
前兆を捉えた
最重要映画
緊急公開!

ドンバス
ここで何が起きているのか。

セルゲイ・ロズニツァ監督作品

2018年/121分/ウクライナ語、ロシア語 製作:ドイツ、ウクライナ、フランス、オランダ、ルーマニア | 日本字幕:守屋真 | 配給:サンロードフィルム
ONLINE ADDRESS: MP:0001 | MOVIE:0001 | JSA PRODUCTION | GRANET FILM | WILD AT ART | DIGITAL COBE
www.sunny-film.com/donbass



ロシアーウクライナ戦争の背景、 “ドンバス戦争”とは何か?

2014年に一方的にウクライナからの独立を宣言し、親ロシア派勢力「分離派」によって実効支配されているウクライナ東部ドンバス地方。ウクライナ軍との武力衝突が日常的に起きているこの地域にはロシア系住民が多く住み、「分離派」の政治工作によってウクライナ系住民との分断が深まり内戦となっている。フェイクニュースやプロパガンダを巧みに駆使する近代的な情報戦と、前時代的で野蛮なテロ行為が横行するドンバスのハイブリッド戦争を、ウクライナ出身の異才セルゲイ・ロズニツァ監督がダークユーモアを込めながら描く——が、今日の戦争でロシア軍の所業を知った今、もはやまったく笑えない映画に変貌を遂げた。2018年カンヌ国際映画祭〈ある視点部門〉監督賞受賞作品。

ロシアとウクライナの戦争を理解するための“ドンバス13のレッスン” ドンバスで起きた実話を元に構成された衝撃のエピソード

STORY クライシスアクターと呼ばれる俳優たちを起用して作るフェイクニュースから始まり、支度物資を準備する医師と怪しげな仕掛人、湿気の充満した地下シェルターでフェイクニュースを見る人々、新政府への協力という口実で民間人から資産を巻き上げる警察組織、そして国境での砲撃の応戦……。無法地帯“ノヴォロシア”の日常を描く13のエピソードは、ロシアとウクライナの戦争をすでに予見していた、ここでは一体何が起きているのだ。

※「ノヴォロシア」とは——起源は18世紀末にロシア帝国が征服した黒海北岸部地域を蓋す地域名であり「新しいロシア」を意味する。親ロシア派は、実効支配するドンバス地域に樹立した自衛国家「ドネツク人民共和国」と「ルガンスク人民共和国」からノヴォロシア連邦をつくらうとした。プーチン大統領はこの2つの自衛国家の独立を承認し、平和維持を目的とする「特別軍事作戦」と称し、この度の侵襲戦争を開始した。



ZAO
EXPO '22
Presents

映画「ドンバス」

(2018年/121分、監督・脚本：セルゲイ・ロズニツァ)

自主上映会 + トークセッション

今回の〈異聞異文トーク Vol.2〉は、遠刈田温泉エリアで 現在開催中のアート・プロジェクト「ZAO EXPO 2022」との共催で、映画『ドンバス』の上映会とトークセッションを行います。2022年2月に始まったウクライナ侵攻は、いまこの瞬間にもウクライナの東部や南部を中心に多くの被害をもたらしています。しかし日本に暮らしていると、現地の歴史や地政学的な背景を実感を持って理解することは難しく、日本のメディアを通して知りうる情報にフェイクが混じっていたとしても、専門家でない限りその判断も難しいのが実情です。

監督のセルゲイ・ロズニツァ氏は、過去の過ちを語ろうとしなければ問題はどんどん深刻化し消えることはないと言っており、2018年に公開された劇映画である本作のほか、数々のドキュメンタリーにおいても、第二次世界大戦から現在へと続く負の歴史と向き合うことを促します。

実話を元にした13のエピソードで展開する『ドンバス』を鑑賞後には、ゲストからの話題提供と短いトークセッションを行います。戦争がもたらす分断や愚行の数々を作品を通して学び、同時代に生きる者として思考する場〈異聞異文トーク〉へ、ぜひご来場下さい。



2022.10.14(金) 19:30-22:30

※19:00 開場 19:30 映画上映 21:45 トークセッション

※20:00以降の途中参加はできませんのでご注意下さい

会場: even (仙台フォーラス7F)

参加費: 大人 1500 円、大学生以下 1000 円

※学生の場合、学生証等、確認できるものを当日ご持参ください

※料金は当日受付にてお支払いください

定員: 50 名、要予約(定員に達し次第締切)

予約: 右の QR コードよりお申し込み下さい

主催: 一般社団法人とおがったプロジェクト

共催: even



ご予約は
こちらから!



ZAO EXPO 2022
みんな旅人だった

期間: 2022年8月~10月

会場: 宮城県刈田郡蔵王町「遠刈田温泉」地区

主催: 一般社団法人とおがったプロジェクト

<https://www.tr044.org/zaoexpo2022>

その土地に「誰か」が住み「何か」が起きている 3 ヶ月。アーティストとプロセスの共有ができる、開かれたアーティスト・イン・レジデンス、それが「ZAO EXPO」です。EXPO 期間中の毎週土日はオープンスタジオとなります。ぜひ、各サイトを訪れアーティストの制作過程をご覧ください。

TALK

堀野正浩 (認定 NPO 法人 ^{アイビー} IVY 理事)

SESSION

佐藤雅宣 (一般社団法人とおがったプロジェクト 代表)

GUEST

司会: 長内綾子 (Survivart)

堀野正浩 (ほりの・まさひろ)

(公財)仙台観光国際協会が仙台市内在住の外国人サポートなどに従事。年々増加する外国人住民と地域の共生に取り組む。ウクライナ、バングラデシュ等で緊急支援を行う国際協力 NGO IVY (アイビー) の理事も務める。

佐藤雅宣 (さとう・まさのぶ)

1979年宮城県生まれ。大手半導体メーカーへ入社し、蔵王町へ移り住む。仕事で訪れた台湾で出会った台湾茶に衝撃を受け、2013年8月に台湾喫茶 慢瑤茶 (まんようちゃ) をオープン。2021年、遠刈田温泉街の空き店舗を活用したアーティスト・イン・レジデンス事業をスタートし、一般社団法人とおがったプロジェクトを設立。



even | 異聞 | 異文 | イーブン

〒980-8546

宮城県仙台市青葉区一番町3-11-15 仙台フォーラス7階

TEL: 022-796-3308 mail: info@even-sendai.com

URL: <http://even-sendai.com/>

<交通案内>

JR | 仙台駅より徒歩15分

地下鉄 | 南北線 広瀬通駅 西4出口より徒歩1分

東西線 青葉通一番町駅 北1出口より徒歩4分

車 | 駐車場は近隣コインパーキングをご利用ください

